

熊本駅周辺整備について



新幹線駅舎
在来線高架橋
現 駅舎
拡張整備 (約40m)
完成整備 → 約18,000㎡
暫定時(現在) → 約11,000㎡
立体横断施設

熊本駅白川口駅前広場
 暫定形：平成23年3月完了
 完成形：平成31年度完了予定

連立事業 (新熊本駅舎)
 平成30年度完成予定

連立事業 (在来線高架化)
 平成29年度切替予定

熊本駅西土地区画整理事業
 平成32年度完了予定

鹿兒島方面

福岡方面

熊本駅ビルと周辺開発構想のイメージ図

マンション
 複合映画館 会議室など
 商業施設
 立体駐車場
 ホテル
 駅前広場
 立体庭園
 熊本地方合同庁舎
 駅舎

熊本駅ビル
 平成33年春開業予定

B棟
A棟

合同庁舎
 A棟平成22年10月完成
 B棟平成26年10月完成

市街地再開発事業 (くまもと森都心)

凡例

整備完了	緑色
整備中	青色
今後着手	ピンク色

(都)春日池上線

(都)熊本駅城山線

(都)熊本駅南線

新幹線

熊本駅

坪井川

白川

祇園橋

熊本合同庁舎A棟

熊本合同庁舎B棟

熊本駅城山線 (W=36m)

熊本駅北郡線 (W=36m)

春日池上線 (W=30m)

九州学園校

アフェリック 迎賓館

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

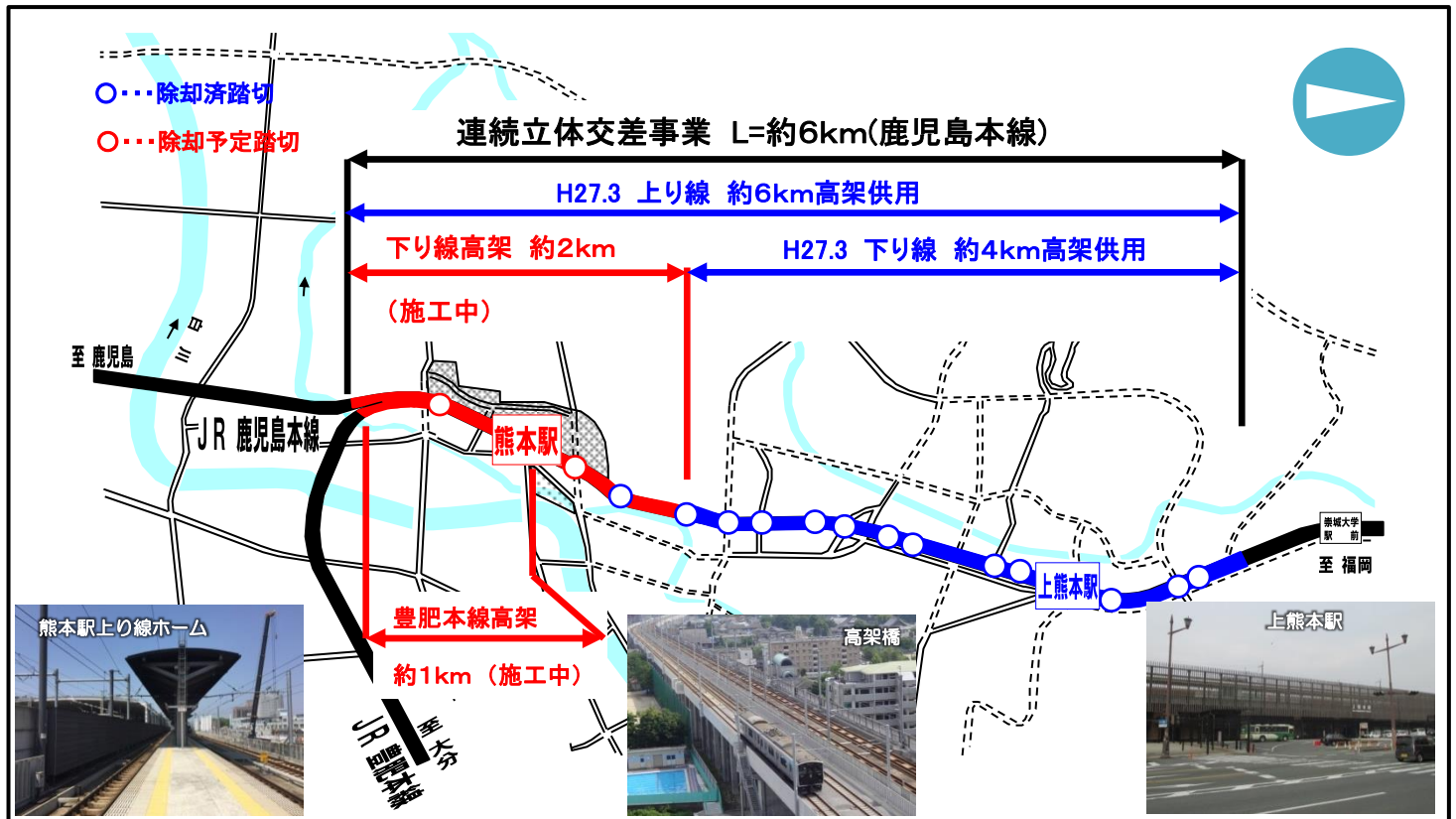
ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ

JR鹿兒島本線等連続立体交差事業

事業概要

- ◆事業の目的：踏切除却による都市交通の円滑化や鉄道により分断された市街地の一体化を図るため、鉄道の高架化に取り組んでいます。
- ◆事業の区間：①鹿兒島本線 L=約6km（上下線）、②豊肥本線 L=約1km
- ◆事業の期間：平成13年度～平成30年度（予定）
- ◆踏切除却数：15箇所（一般部：13箇所、駅部：2箇所）
- ◆事業の計画：平成27年3月
鹿兒島本線上り線約6km、下り線北側約4kmを高架切替
（13踏切を除却）
平成29年度末 全線高架切替予定
平成30年度末 熊本駅舎完成、事業完了予定



事業効果

踏切の遮断

交通渋滞・踏切事故の解消

地域の一体化

周辺住民等の利便性の向上

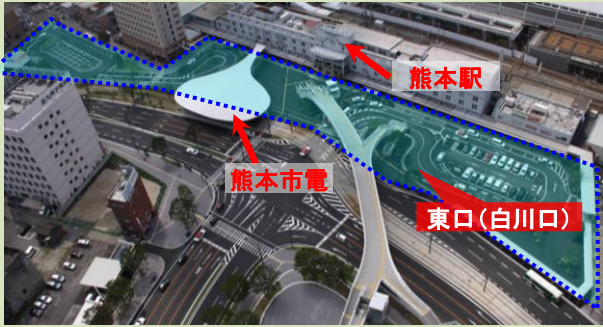
まちづくりへのインパクト大

土地利用の可能性増大・高架下空間等の多目的な活用

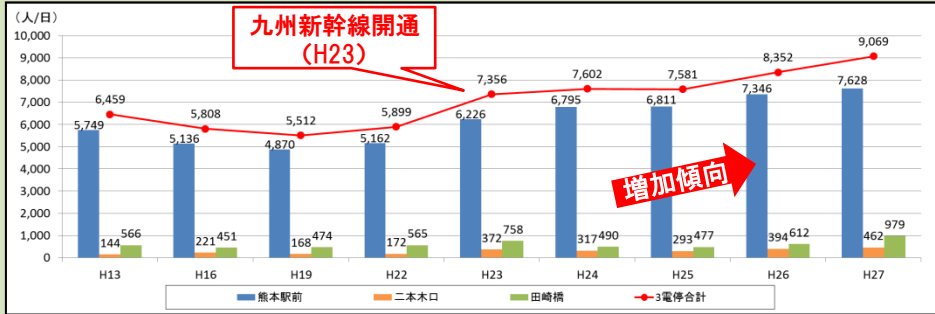
熊本駅周辺の整備効果

◇駅利用者の増加

熊本駅周辺地域では、鉄道の利便性や都市としての魅力が向上したことで、在来線・新幹線の鉄道利用者や、熊本市電の乗降客数が増加しています。

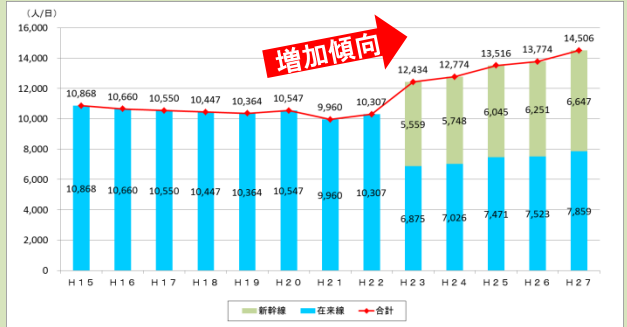


熊本市電停留所(熊本駅前、二本木口、田崎橋) 乗降客数(終日)



(出典: 庁内資料調査)

熊本駅新幹線・在来線 乗車客数(年間)



(出典: JR九州提供資料)



▲熊本駅前停留所(熊本駅白川口)

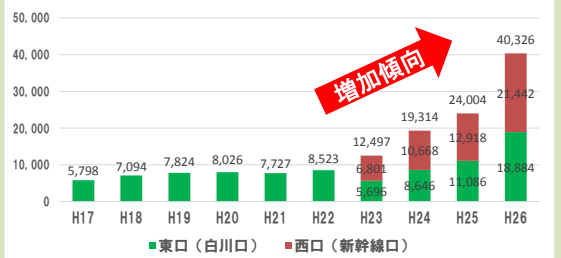
◇賑わいの創出

熊本駅周辺地域では、鉄道の利便性や都市としての魅力が向上したことで、観光案内所利用者数や歩行者交通量が増えるなど賑わいが創出されています。



現在の状況(平成27年12月)

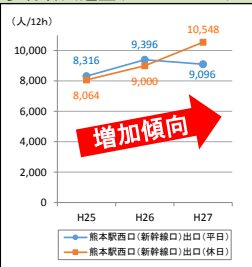
熊本駅総合観光案内所(東口・西口) インフォメーション案内利用者数



(出典: 庁内資料)

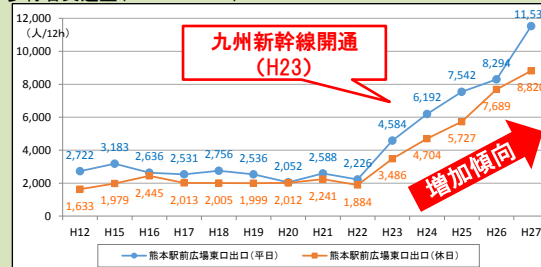
観光案内所利用者数: H17から約35,000人増

熊本駅西口(新幹線口)出口 歩行者交通量(8:00~20:00)



▲JR熊本駅西口(新幹線口)

熊本駅前広場東口(白川口)出口 歩行者交通量(8:00~20:00)



(出典: 商店街通行量調査)



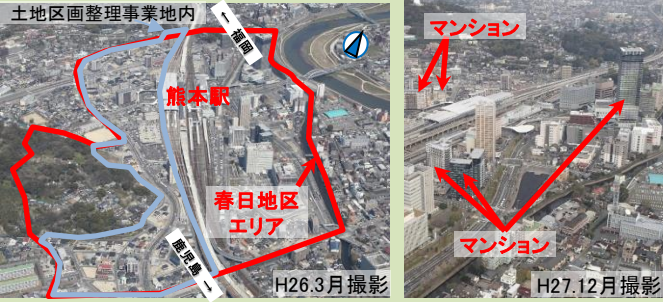
▲JR熊本駅東口(白川口)

熊本駅周辺の整備効果

◇居住地・従業地の魅力向上

熊本駅周辺地域においては、民間マンション等が立地することで夜間人口が約1.1倍増加(H13比)しており、さらに専門学校等や合同庁舎が立地することで昼間人口が約4,000人増加しています。

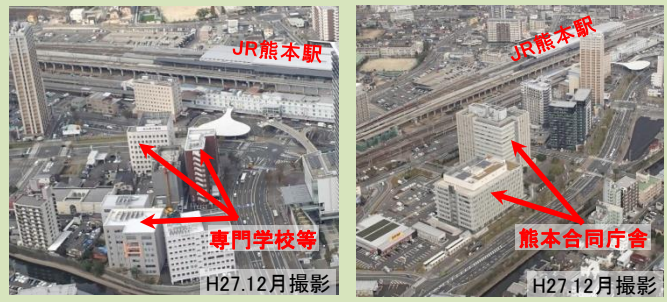
夜間人口の増加



夜間人口(春日地区)の変化



昼間人口の増加



通学者 専門学校等(4校)
⇒1,800人

勤務者 熊本合同庁舎(A棟・B棟)
⇒2,200人

約4,000人増

更に
くまもと森都心プラザの来館者数
⇒約100万人/年(H27年度)

※当初想定50万人/年

(県聞き取り調査結果)

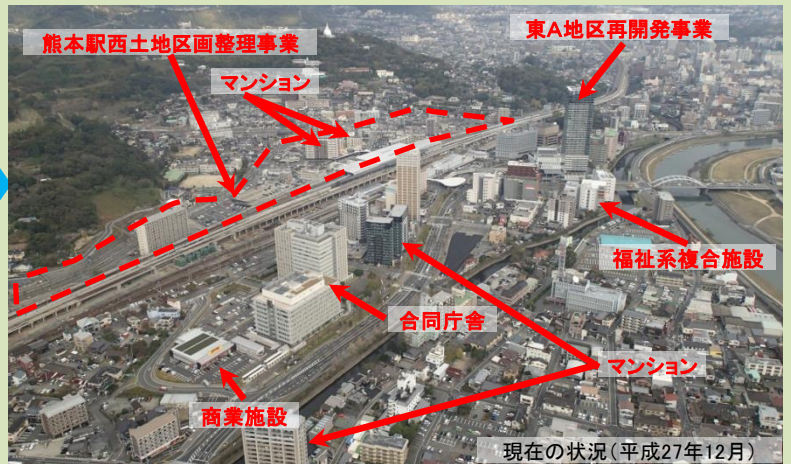
◇周辺開発の誘発

熊本駅周辺地域においては、九州新幹線の開業や鉄道の高架化にあわせて、土地区画整理事業や市街地再開発事業、街路事業等の基盤整備を一体的に実施することにより、民間のマンション建設等が活発になっています。

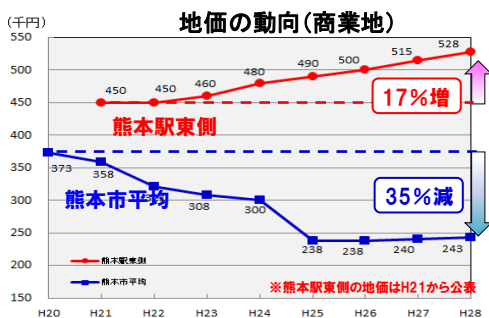
周辺開発の誘発



周辺開発
の誘発



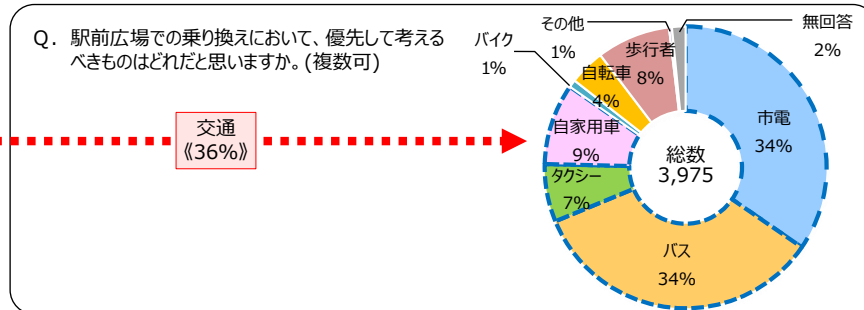
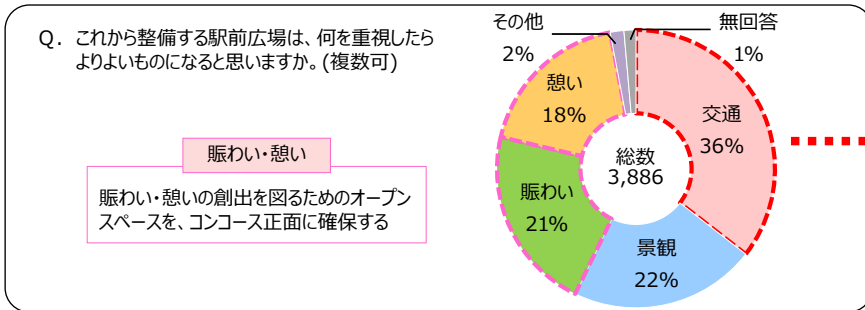
事業の進捗に伴い、周辺の地価が上昇



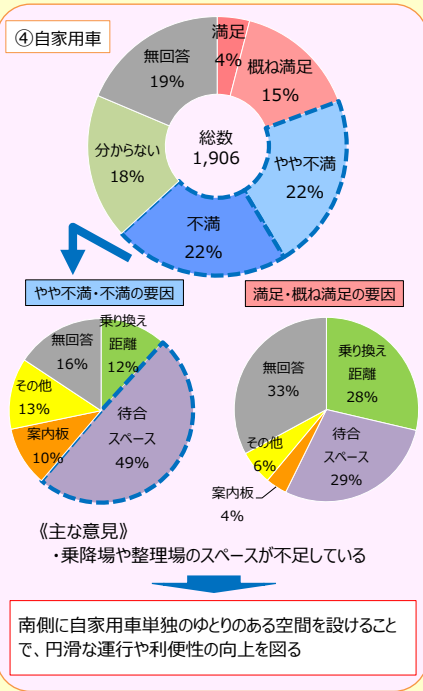
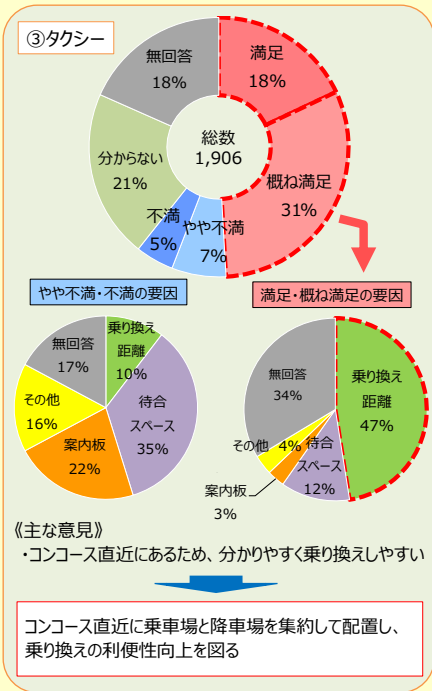
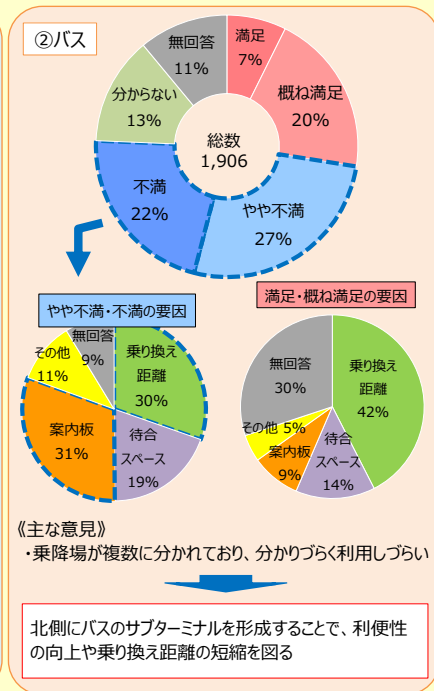
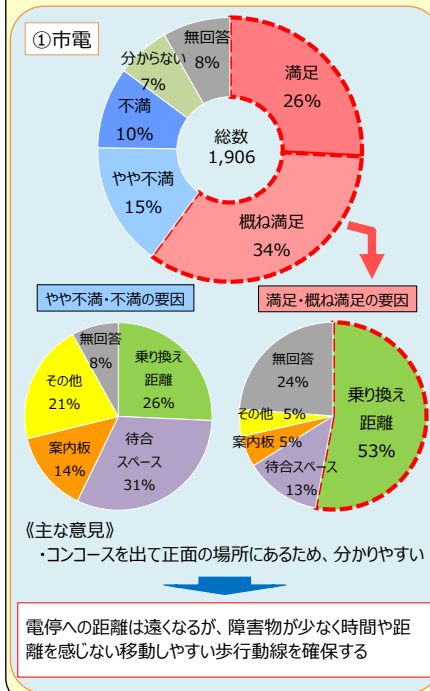
熊本駅白川口駅前広場計画に関するアンケート調査の結果について

熊本駅白川口駅前広場を計画するに当たり、現状に対する意見や将来に対する要望等を把握するため、アンケートを実施しました。
このアンケート結果を参考にしながら、皆様の意見が反映された駅前広場となるよう計画を進めてまいります。

- ◇調査対象：①駅利用者、②地元4校区（春日・古町・白坪・向山）、③区役所利用者、④インターネット ※市内78%、県内他市町村15%、県外6%、不明1%
- ◇調査期間：①平成27年12月4日、②平成27年12月、③平成27年12月10日から平成28年1月15日、④平成27年12月10日から平成28年1月15日
- ◇調査状況：①配布数3,000→回答数869（回答率29.0%）、②配布数1,387→回答数686（回答率49.5%）、③回答数41、④回答数310 ⇒ **合計1,906件の回答**



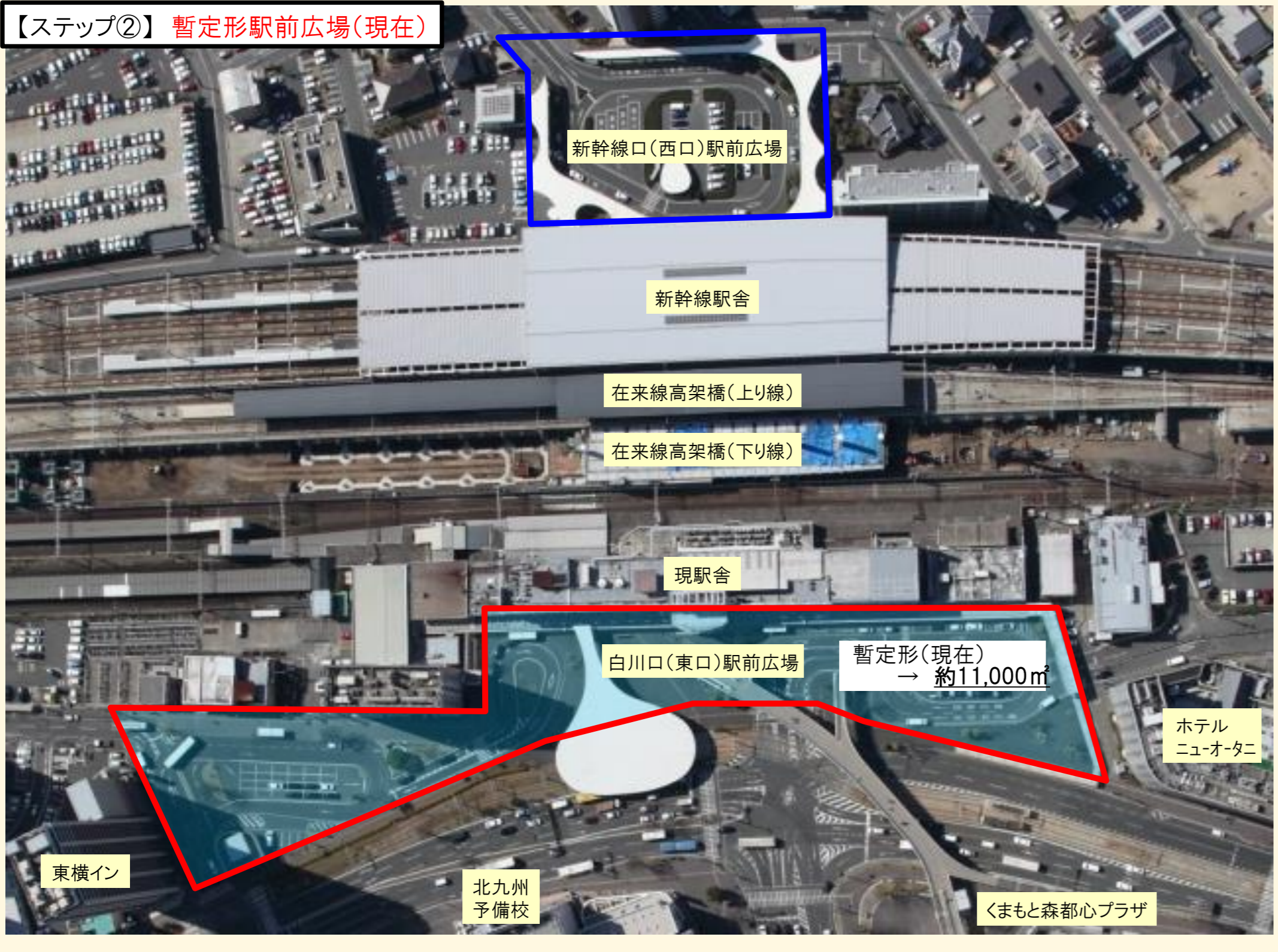
Q. 熊本駅からの交通機関の乗り換えについて、その満足度を教えてください。またその満足度を占める主な要因も教えてください。(複数可)



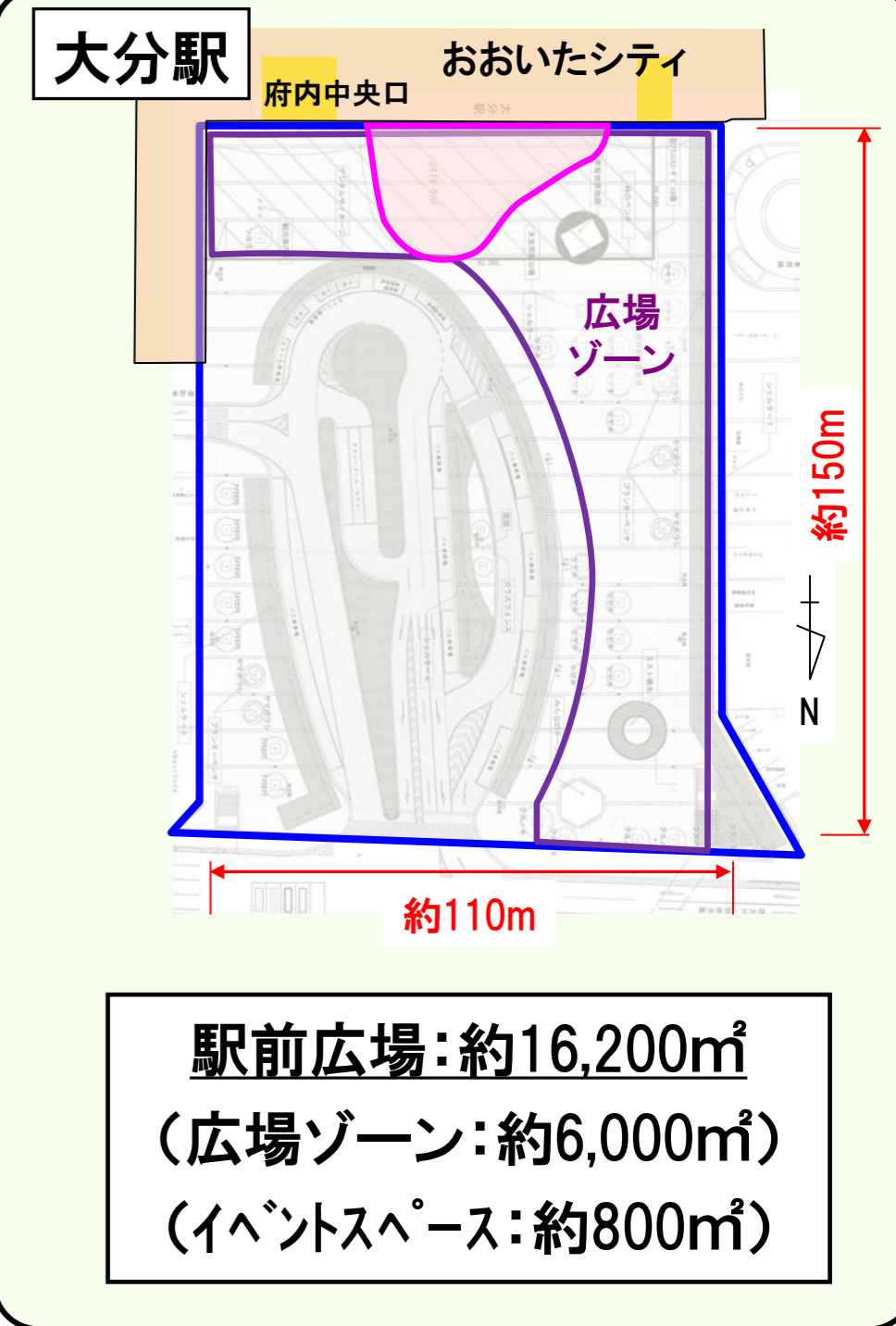
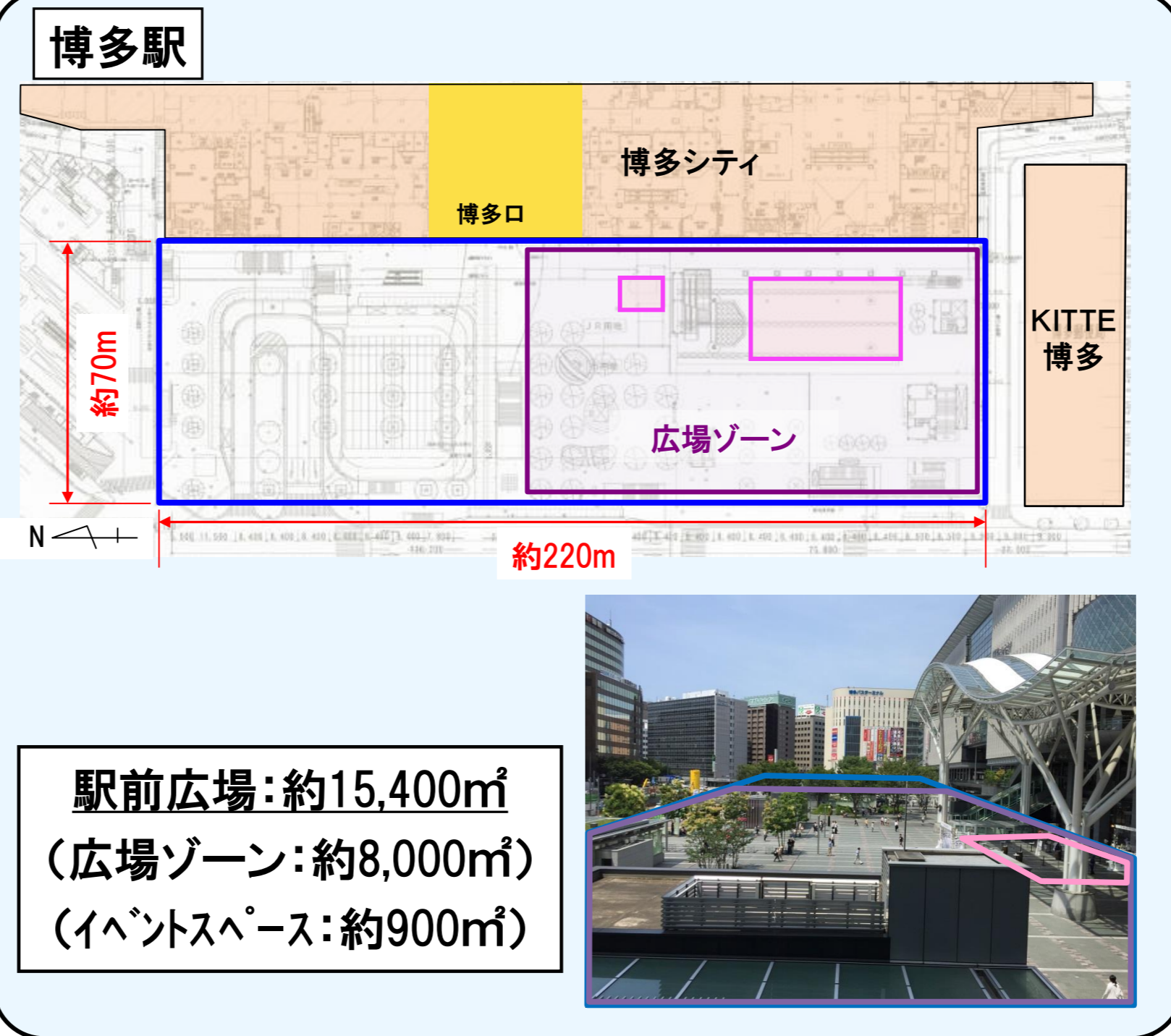
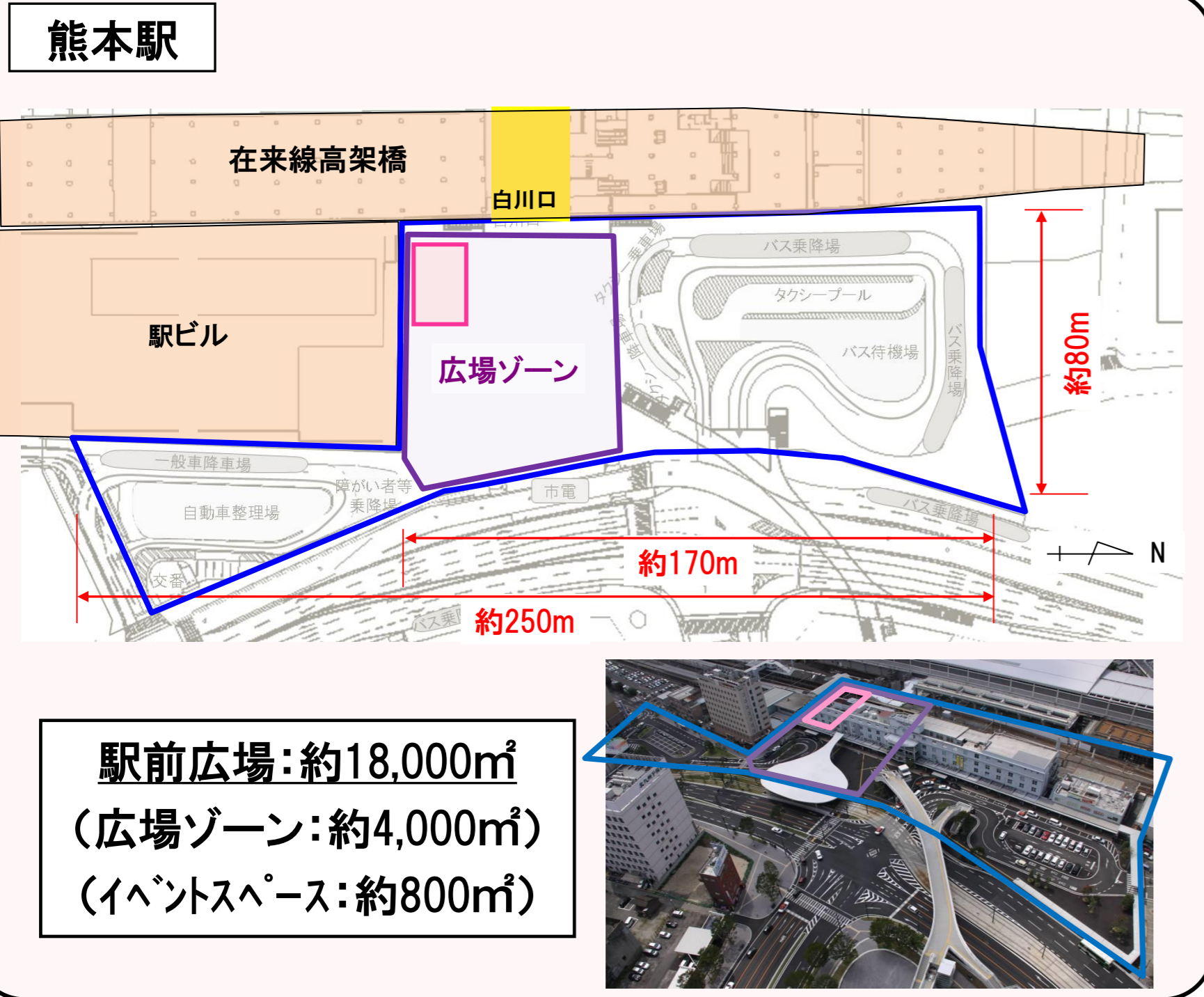
熊本駅白川口駅前広場整備概要

熊本駅白川口駅前広場は、九州新幹線全線開業を契機に、現在の暫定形駅前広場に整備しました。今後は、在来線の高架化が完了した後に駅前広場を拡張し、完成形の駅前広場を整備する予定です。（現在の暫定形駅前広場面積の約1.7倍の大きさになります）

◇熊本駅白川口駅前広場整備の流れ



◇他都市比較



◇スケジュール

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
九州新幹線	工事	◀ H23年3月 九州新幹線全線開業										
連続立体交差事業	工事					◀ 一般部高架切替え			◀ 駅部高架切替え予定		◀ 駅舎外壁完成予定	
熊本駅白川口駅前広場	工事	◀ 暫定形駅前広場完成							◀ 駅前広場完成予定			
JR開発(駅ビル)						計画・設計			工事		◀ 駅ビル完成予定	

熊本駅白川口駅前広場のゾーニング

現在、熊本駅白川口駅前広場の計画について、アンケート調査の結果や関係者等との調整により、次のようなゾーニングを計画しています。

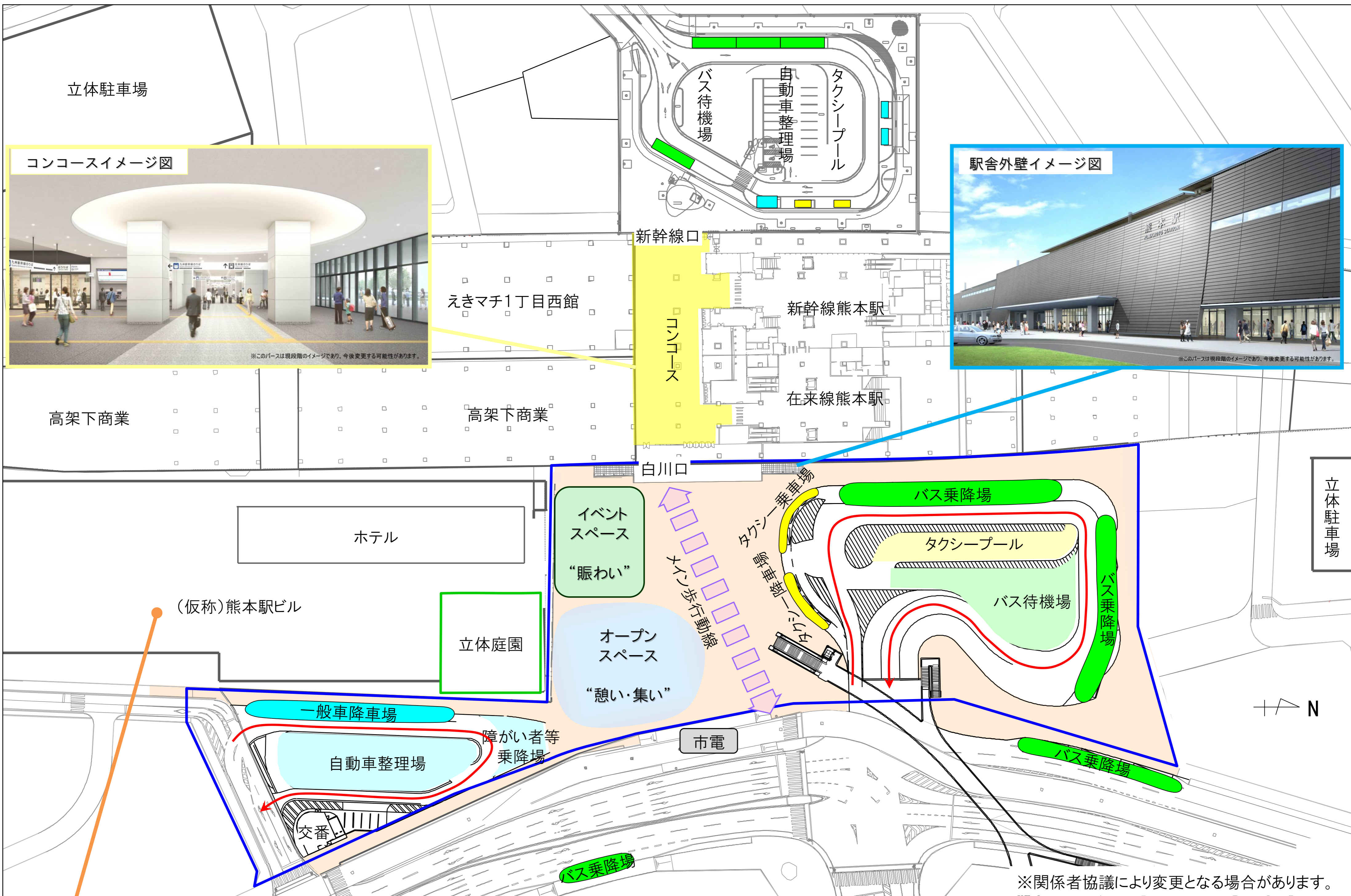
今後は完成形白川口駅前広場のレイアウト確定に向けて、計画を進めてまいります。

◇熊本駅白川口駅前広場ゾーニング

【北側(図右)・・・公共交通ゾーン】 タクシー・バスといった公共交通機関の乗降場や待機場を集約します。

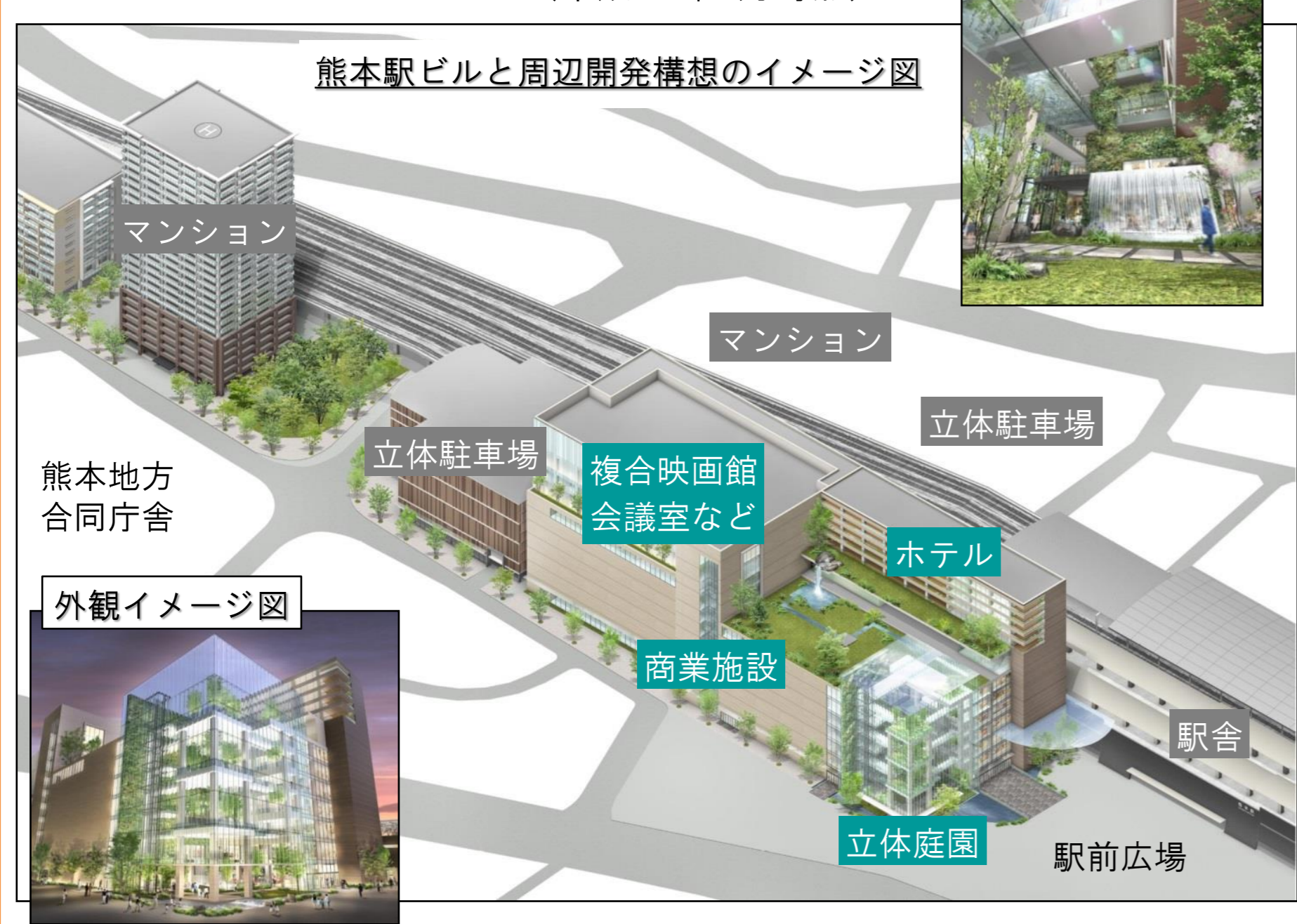
【南側(図左)・・・一般交通ゾーン】 一般車等の単独空間として、乗降場や自動車整理場を整備します。

【中央(図中)・・・広場ゾーン】 賑わい・憩い・集いを創出できるような、広い空間を設けます。

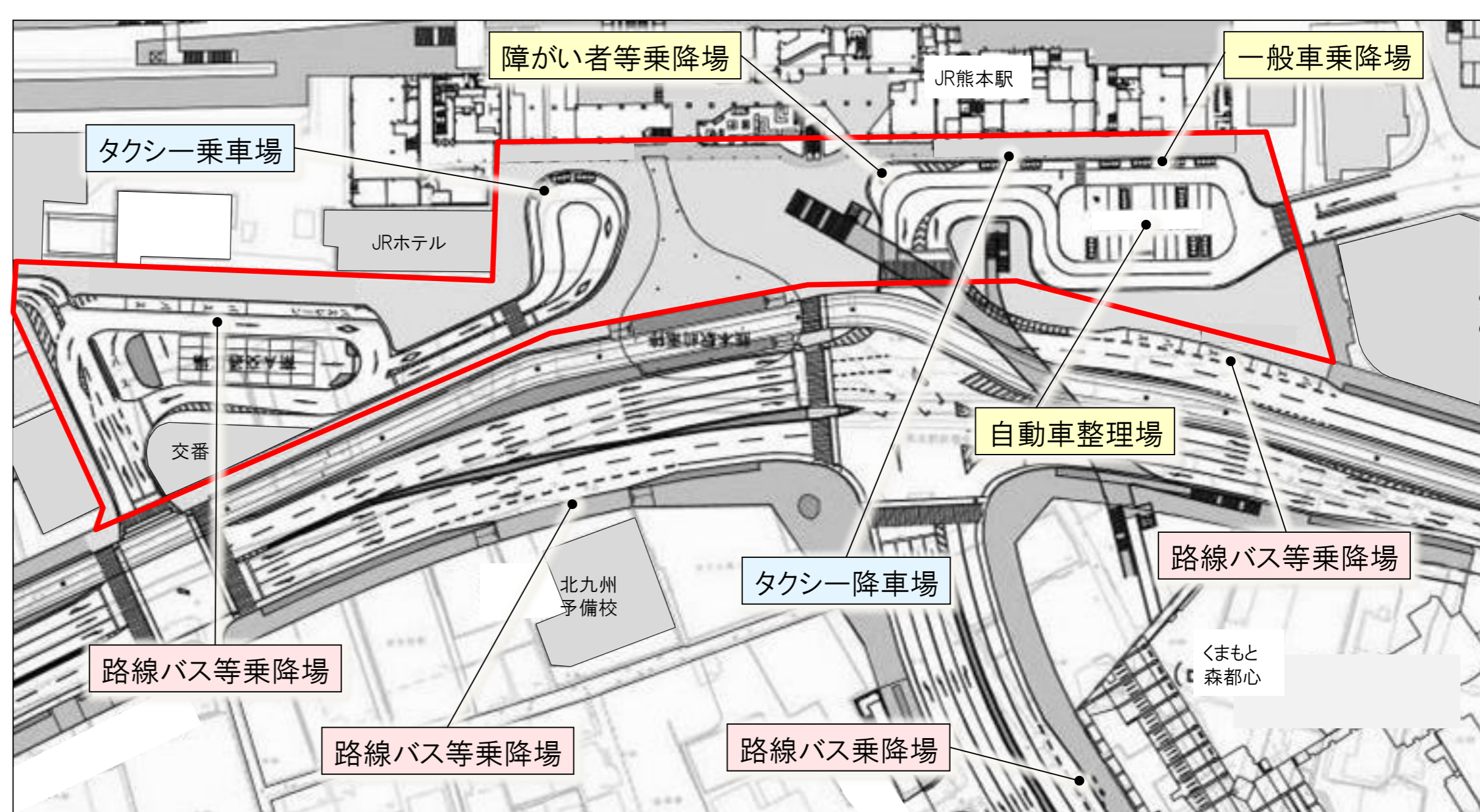


◇熊本駅新ビル開発構想

(平成28年2月時点)



◇参考【暫定形駅前広場(現在)】



広場ゾーンの使い方

熊本駅白川口駅前広場では、コンコースを出た正面に広い空間を設けることとしています。この空間には大きく分けて、賑わいを創出するイベントスペース、憩い・集いを創出するオープンスペースの整備を考えており、今後他都市の駅前広場等を参考にしながら計画を進めてまいります。

実施イベント例



フェスティバル(博多駅)



コンサート(博多駅)



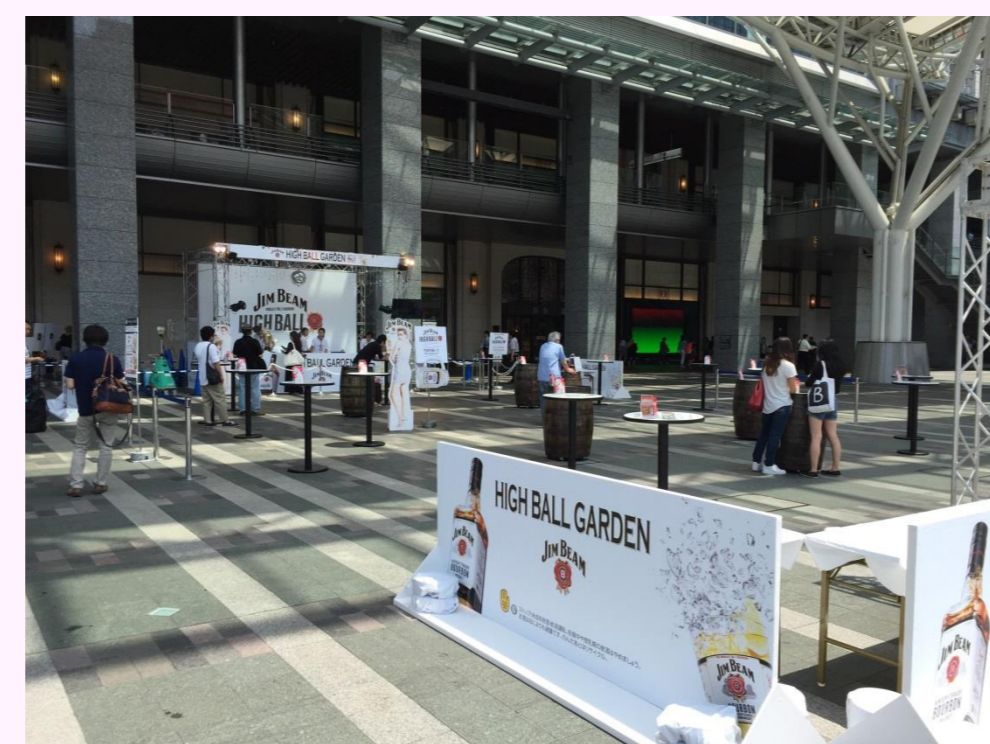
ダンス(博多駅)



お祭り(鹿児島中央駅)



クリスマスマーケット(博多駅)



ビアガーデン(博多駅)



物産展(鹿児島中央駅)



展示会(鹿児島中央駅)

空間整備例



緑の配置(新潟駅)



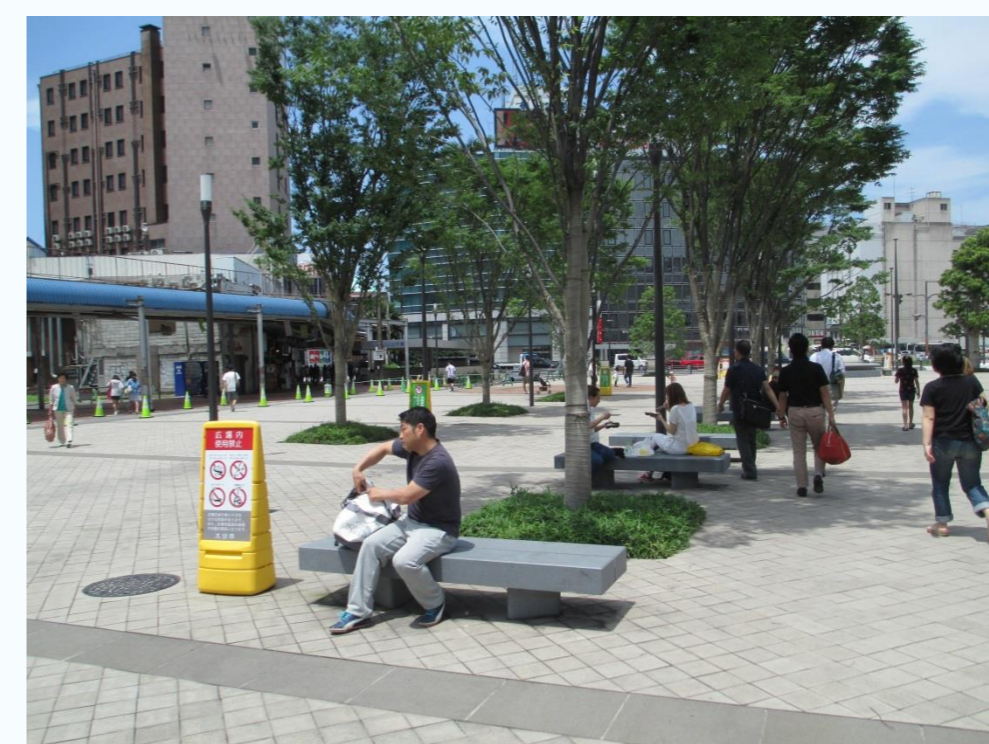
緑の配置(博多駅)



芝生広場(日向市駅)



庭園(岐阜駅)



ベンチ(大分駅)



ベンチ(博多駅)



照明配置(岐阜駅)



照明配置(博多駅)

防災・減災機能例

環境空間では、日常は賑わい・憩い・集いを創出しますが、災害時には防災・減災機能を兼ね備えた空間となるよう場面転換を図ります。



マンホールトイレ(吹田駅)



かまどベンチ(吹田駅)



手押し井戸(武蔵小杉駅)



ボランティアセンター(花畑広場)